

4つのSと1人のS

2組担任 杉村 圭彦

皆さんに対して私が意識して使っている「4つのS」がつく言葉があります。「すごい」「素晴らしい」「さすが」「すてき」の4つの言葉です。この言葉を使うと、よく「気持ちがこもっていない」とか「棒読みやん」などと言われますが、この2年半、皆さんに感心したことはたくさんあります。友達が困っている時にそっと手を差し伸べられる優しさや、進路が決まっても気を緩めることなく努力し続ける姿や、自分の夢を叶えるために努力を続ける姿、クラスのために積極的に行事に取り組む姿。本当にたくさんの良いところを見ることができたと思います。本当に君たちのことを「すごい」「素晴らしい」「さすが」「すてき」と思っていますよ。きっと棒読みに聞こえてしまうのは、私が「意識して」使っているからだと思います。自然にそれらの言葉を発することができるのではなく、「君たちをほめたい」→意識する→4つのSを使うという段階を踏んでいるから、棒読みに聞こえるのではないかと思います。そういう素敵な言葉を自然に言えるようなそんなS（杉村）になりたいと思っています。自然に発せられた、思いのこもったほめ言葉は、言われるととてもうれしいものだと思います。使っている側も喜んでもらえるとてもうれしいものです。高校を卒業すると、お互いを認め合い、お互いの足りない部分を補い合って何かを作り上げる機会が多くなると思います。その時に、「4つのS」を考えてみてください。他人の欠点は簡単に見つかるかもしれませんが、それでも、その人の良い所を見つけて、それを言葉に直して伝えてあげてください。私は皆さんが高校を卒業してから、周囲に疎まれる存在になってほしくない。周囲から好かれ、周囲に求められる存在になってほしい。その一つの手段として、「4つのS」を私、S（杉村）はオススメします。

11月の行事予定

*印は休業日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	金		*16	土	川養祭見学
*2	土	進研模試、ラントモ2019	*17	日	
*3	日	(祝)文化の日	18	月	
*4	月	振替休日	19	火	カウンセリングデー、家族の日
5	火	家族の日	20	水	スケアードストリート講習会
6	水	生徒会役員認証式	21	木	
7	木		22	金	
8	金	漢字検定	*23	土	(祝)勤労感謝の日
*9	土	第3回オープンハイスクール	*24	日	創立記念日
*10	日		25	月	
11	月		26	火	カウンセリングデー、家族の日
12	火	2年生修学旅行出発、家族の日	27	水	
13	水		28	木	福祉交流委員会（生徒）
14	木		29	金	ストーブ搬入
15	金		*30	土	

12月の行事予定

- 12/3（火）～12/9（月）期末考査
- 12/10・11 考査返却授業（25分×6）
- 12/12（木）第2回川養訪問
- 12/13（金）インターンシップ報告会、キャリア教育研究会
- 12/20（金）カウンセリングデー
- 12/23（月）避難訓練、大掃除
- 12/24（火）終業式

なぜ？をくり返す

3組担任 前島 太

受験シーズンが本格的に始まりましたね。最近では、推薦入試直前で面接練習を一生懸命している姿をよく見かけます。何であれ、一生懸命な姿はカッコいいです。頑張ってください。また、面接は自分自身を見つめ直す良い機会です。どうせ緊張するし、せっかくだから楽しんじゃいましょう。

今回は、入試の面接対策ではもちろん、今後の人生においても役に立つ、自分の考えを深めるため私がいつも行っている方法をお伝えします。

この方法はトヨタ自動車採用されているもので、問題を解決する際に5回「なぜ？」と問いかけをすることで見せかけではない問題の本質を探ることを目的としています。この手法はある意味ではオススメできないとする意見もありますが、問題の原因究明ではなく、自身の考えを深める上では非常に役に立つと考え、私は毎日何事に対してでも常に意識しています。参考にしてください。

例) 体調が優れないことが悩みで、本人はその原因を「寝不足」であると考えているビジネスパーソンがいるとしましょう。

1. なぜ、体調がすぐれないのか？→ 寝不足であるから。
2. なぜ、寝不足であるのか？→ 残業のせいで、ストレスを感じているから。
3. なぜ、残業が続いているのか？→ 自分の仕事量が多く、終業時間に仕事が片付かないから。
4. なぜ、仕事が多くなってしまうのか？→ 仕事を周囲の人に振ることが苦手で、仕事をため込んでしまっているから。

解決方法：【仕事をうまく人に振っていく】 (5回なぜ？を繰り返すまでに解決。)

このように自身の根底にある問題や興味、考えなどに気づくことができます。上記例は問題解決についてですが、「なぜ自分は〇〇が好きなんだろう？」、「なぜ自分は〇〇への道を進むことに決めたんだろう？」、「なぜ自分はいつもこの表情で会話をするのだろう？」、「この口癖が身についた理由はなんだろう？」と自分自身を一度客観的に見つめ直してみてください。みなさんは「なんとなく」という表現を好みますが、「なんとなく」であっても、今後の進路を選んでいるのは他でもない自分です。客観的に見た自分自身にアドバイスをしてあげるつもりで、今後の人生に役立ててみてください。

【 入試の心構え 】

・ 一般入試の出願がそろそろ近づいてきました。受験するかもしれない大学の願書はすべて取り寄せ、万全の準備で臨みましょう。『蛍雪時代・11月臨時増刊号』の「私立大受験校決定の7つのポイント」を参考に載せておきます。

- ①入学意思のある大学に出願する
- ②難易度は自分の偏差値±3～5で選ぶ
- ③なるべく入試科目が同じ大学を選ぶ
- ④連続の受験は3日までにする
- ⑤本命校が最後に来るのが理想的
- ⑥多様な入試方式を活用する
- ⑦3月まで決してあきらめない

・ 入試の直前には次のようなことにも気をつけよう。

- ①インフルエンザの予防接種を受けておく (早めに受けておくとう安心です)
- ②手洗い・うがい・マスク着用を心がける
- ③消化が良く、栄養価の高い食事を摂る
- ④自分を信じて試験当日まで学習を続ける
- ⑤試験場へのアクセス確認
- ⑥当日は早めに起きて朝食を摂る
- ⑦試験場へは30分前には到着しておく

・・・「良い仕事には良い準備」が必要です。ベストな状態で試験当日を迎えよう。

* 「我に七難八苦を与えたまえ！」これは、戦国時代の尼子藩に仕えた山中鹿介(やまなかしかのすけ)という武将の言葉として知られています。幾多の困難に直面したとき逃げ出したくなるのは誰も同じ。逃げてどうにかなるならそれも良しです。しかし、逃げられない時は覚悟を決めて、困難に立ち向かわなければなりません。不運な身の上を嘆くより、これぞ生きている証し、とプラスにとらえて今できる限りの力を発揮するほうが、悔いが残らないように思います。志によって人は強くなれる、と私は信じています。(長山)